

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 5,312件(前月比0.7、前年比7.9)であり、昨年の12月から増加し、本年の1月がピークとなりましたが、2月は減少傾向を認めています。今後は例年と同様に収束していくと推測されます。

小児科定点

(全体傾向)

8,990件(前月比0.8、前年比1.8)であり、インフルエンザ5,312件と感染性胃腸炎1,947件が大きく占めています。前月比は減少しましたが、前年比は増加しています。前月比の減少は、インフルエンザ5,312件(前月比0.7、前年比7.9)、RSウイルス154件(前月比0.6、前年比0.3)の影響を受けてのものです。一方、前年比の増加は、インフルエンザ(本年度5,312例、昨年度676例)の影響を大きく受けています。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 154件(前月比0.6、前年比0.3)と昨年の12月をピークとして連続して減少しています。前年比は0.3と著明に低下しています。昨シーズンは3月にピークを認めています。今シーズンは例年と同様の動きで今後は収束していくと推測されます。人吉(16.7)が特に多いようです。
2. 咽頭結膜熱: 98件(前月比0.8、前年比3.2)と12月をピークとして1月からは連続して減少しています。前年比は3.2であり、例年より高い値で推移しているようです。菊池(7.8)が特に多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 285件(前月比1.3、前年比1.4)。8月から連続して増加していましたが、1月には一旦減少しました。その後、2月は再び増加しています。熊本(11.2)が特に多いようです。
4. 感染性胃腸炎: 1947件(前月比1.1、前年比0.8)でした。昨年10月から連続して増加していましたが、1月からは減少に転じ、2月は前月比1.1と大きな変化はありません。前年比は0.8であり、例年よりやや少ないようです。
5. 水痘: 426件(前月比0.9、前年比1.5)でした。昨年10月から連続して増加していましたが、1月から減少に転じており、例年と同様に推移しているようです。宇城(15.7)、人吉(14.7)、菊池(13.3)、水俣(11.0)が特に多いようです。
6. 手足口病: 11件(前月比1.4、前年比0.6)と例年と同様に少ない値で推移しています。
7. 伝染性紅斑: 87件(前月比0.9、前年比4.4)と依然として、例年よりは高い値で推移していますが、1月からは減少傾向を認めています。宇城(6.3)、熊本(2.7)、菊池(2.5)が多いようです。
8. 突発性発しん: 125件(前月比1.0、前年比0.8)と1月からは変わりません。例年と同様に推移しているようです。

9. 百日咳： 1件（前月比0.5、前年比1.0）と少ない値で推移しています。
10. ヘルパンギーナ： 32件（前月比1.9、前年比0.9）と前月比は増加していますが、例年と同様に推移しているようです。天草（4.5）が多いようです。
11. 流行性耳下腺炎： 317件（前月比0.9、前年比2.5）と前月比は大きな変化はありませんが、依然として例年より高い値で推移しています。宇城（19.3）、山鹿（15.5）、菊池（12.0）、八代（12.0）が多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数48件（前月比1.0、前年同月1.4）と増加はありません。地区別では熊本43件、菊池2件、有明2件、宇城1件の報告です。年齢別では30～49歳台で40%を占めています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 36件(前月比 0.7、前年比 0.8)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、女性が 32件と多く見られます。年齢別は、男性は 15～44歳、女性は 15～39歳に見られます。地域別は、熊本が 26件と多く、次いで御船6件、山鹿、八代、有明、宇城各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 12件(前月比 0.9、前年比 1.0)でした。前月比は減少し、前年比は同数でした。男女別は、女性が 8件と多く見られます。年齢別は、男性は 30～49歳、女性は 20～59歳と幅広く見られます。地域別は、熊本が 8件と多く、八代、宇城各 2件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 5件(前月比 1.3、前年比 1.0)で、前月比は増加し、前年比は同数でした。男女別は、男性 2件、女 3件でした。年齢別は、男性は 20～24歳、女性は 15～29歳でした。地域別は、熊本 3件、御船、宇城各 1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数 9件(前月比 1.5、前年比 0.3)で、前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性が 6件、女性 3件でした。年齢別は、男性は 15～39歳に見られ、女性は15～34歳にみられます。地域別は、熊本が 8件、菊池 1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数75件（前月比 1.0、前年同月比 1.1）でした。年齢は、55件（73%）は70歳以上でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告は3件（前月比1.5、前年同月比－）でした。場所は熊本市保健所1件、八代保健所2件でした。年齢は1～4歳が1件、20～24歳が1件、70歳以上が1件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告はありませんでした。
4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症：
報告はありませんでした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告は0件（前月比－、前年同月比－）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告は2件（前月比2.0、前年同月比－）でした。場所は熊本市保健所2件でした。年齢は、5～9歳1件、60～64歳1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎：報告は4件（前月比0.7、前年同月比4.0）でした。場所は熊本市保健所4件でした。年齢は、5～9歳2件、10～14歳1件、65～69歳1件でした。
4. クラミジア肺炎： 報告は1件（前月比1.0、前年同月比－）でした。場所は熊本市保健所でした。年齢は、5～9歳1件でした。

届け出対象感染症

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1類感染症： | 報告はありませんでした。 |
| 2類感染症： | 結核： 38件 |
| 3類感染症： | 報告はありませんでした。 |
| 4類感染症： | マラリア： 1件 |
| 5類感染症（全数把握）： | アメーバ赤痢： 1件
後天性免疫不全症候群： 1件 |